**地域密着型サービス運営推進会議録（第５回）**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名 | 社会福祉法人　双葉会　高齢者グループホーム双壽園 |
| 施設種類 | 認知症対応型共同生活介護 |
| 開催日時 | 令和２年　１月　２７日（月）　　　10時　00分　～　1１時00分 |
| 会場 | 双壽園　会議室 |
| 参加者 | 利　用　者　代　表 | ０人 |
| 利用者家族代表 | １人 |
| 地域住民代表 | ３人 |
| 有識者 | 人 |
| 高齢者お世話センター | １人 |
| 市職員 | １人 |
| 事業者 | ３人 |
| 報告事項 | グループホームの運営状況について入居者の認知症と健康状態についてその他 |
| 1．2．３． |
| 議　　題 | １．グループホームの運営状況について報告する。現在の利用者状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　９名（全て女性）平均年齢　87.8歳

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要介護度 | １ | ２ | ３ | ４ | ５ | 計 | 平均要介護度 |
| 人数 | １ | ２ | ５ | １ | ０ | ９ | ２．６ |

　　　職員状況　　　12月からパートで看護師１名勤務　　　1月から体調不良の為休まれていた介護職員復帰２．入居者の認知症と健康状態について報告する　　①入居者の要介護度を前回と更新後で比較　　　前回と変わらなかった（４名）　　　前回より介護度が上がった（４名）（１以上上がった方はいません）　　　春に入居され、更新にいたらない（１名）　　　＜低下の要因＞　　理解力が低下し見守り、声かけが全てにおいて必要になり作話　　も多くなった（１名）　　腰痛が悪化され移乗、移動等に介助が必要になった（１名）　　理解力の低下と身体機能の低下により介助が多く必要になった（１名）　　入院をきっかけに食事も全介助になった（１名）　　②健康状態について　　　主な病名　　認知症（２名）　　　　　　　　　アルツハイマー型認知症（７名）　　　　　　　　　高血圧（６名）　　　　　　　　　高脂血症（３名）　　　　　　　　　変形症腰椎症（１名）　　　　　　　　　変形性膝関節症（１名）狭心症（うっ血性心不全）（１名）糖尿病（２名）甲状腺機能低下症（１名）過活動性膀胱（１名）逆流性食道炎（１名）　　　　その他　　憂うつな気分や不安（４名）　　　　　　　　　腸の調子、排便調整（５名）　　　　　　　　　皮膚のかゆみ（３名）　　　　　　　　　目の不調（１名）　　　　入院　　　11月　医療センター（1名）　　　　　　　　　（肺炎の為入院　→　1週間後退院）　　　　　　　　　12月　医療センター（1名）　　　　　　　　　（大腸癌による腸閉塞の手術の為入院　→　　　　　　　　　　現在退院に向けてのケアの段階に入っている）３．その他　　　認知症については、その方の性格、持病、体調、環境等で進み方の違いがあり、3，4年で確実に進んでいく方もいれば、10年経ってもさほど変わらない方もいることをお話する。ＧＨはどのくらいで入居者の入れ変わりがあるのかと言う質問に、昨年は1名。現在入居待ちの方が7，8名いることを報告する。他施設でも沢山の入所待ちの話を聞くが、これから新しい施設は立つのですかという質問に、ながいき課の方も、お世話センターの方も今のところ予定はないですねと話して下さった。委員の方からは地域の少子化により学校に空き室が増えてきた。そして高齢化により今は沢山の施設が必要だが次第に空きが出て来る。学校と同じ道を進むという声が出る。　　　健康状態については、看護師から入居者の体調について気を付けていることなどを報告する。血圧については役員からも具体的にはどのくらいの血圧が調度いいのかと質問を受け答える。また役員自身の病院でのエピソードも話して下さり楽しい会となった。　　　最後にインフルエンザ、新型コロナウイルスの話題となり、手洗い、うがい、マスクはもちろんだが、人混みには出来るだけ行かないように、また、疑わしい異変を感じたら、すぐに病院受診すること、新型コロナウイルスについてはまず保健所に連絡を入れた方がいいと言うことで終わりとなった。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上 |
|  |